

平成19年度 日本歌謡学会 春季大会

於 東京都品川区東五反田 清泉女子大学

第1日 5月12日(土)

公開講演会 (13:30~16:00) 1号館140教室

開会の辞 清泉女子大学副学長 吉田 彩子

公開講演会1 浄瑠璃注釈上の諸問題 南山大学教授 安田 文吉

公開講演会2 「山姥」考 杉野服飾大学教授 馬場 光子

日本歌謡学会志田延義賞受賞式

芸能実演 「山姥の歌謡と舞踊」(16:30~17:45) 講堂

解説 清泉女子大学専任講師 姫野 敦子

実演 能「山姥」仕舞 シテ方金春流能楽師 中村 昌弘氏

実演 地唄舞「山姥」 吉村流 吉村 桂充氏

第2日 5月13日(日)

研究発表 午前の部 (9:30~11:30) 1号館140教室

清暑堂の御神楽の変遷 堂上楽人と地下楽人と

慶応義塾大学大学院博士課程 中本 真人

上代における「天のみかげ日のみかげ」について

奈良市立伏見小学校 軽澤 照文

『田植草紙』の成立背景をめぐって 「月次風俗図屏風」との関わりから

東京大学大学院博士課程 井戸 美里

研究発表 午後の部 (13:00~14:30)

『松の葉』の編集意図 「組歌」と「投げ節」

國土舘大学非常勤講師 梅澤 伸子

四天王寺西門信仰と今様 『梁塵秘抄』一七六番歌をめぐって

同志社大学教授 植木 朝子

総会

閉会の辞

日本歌謡学会会長 真鍋 昌弘